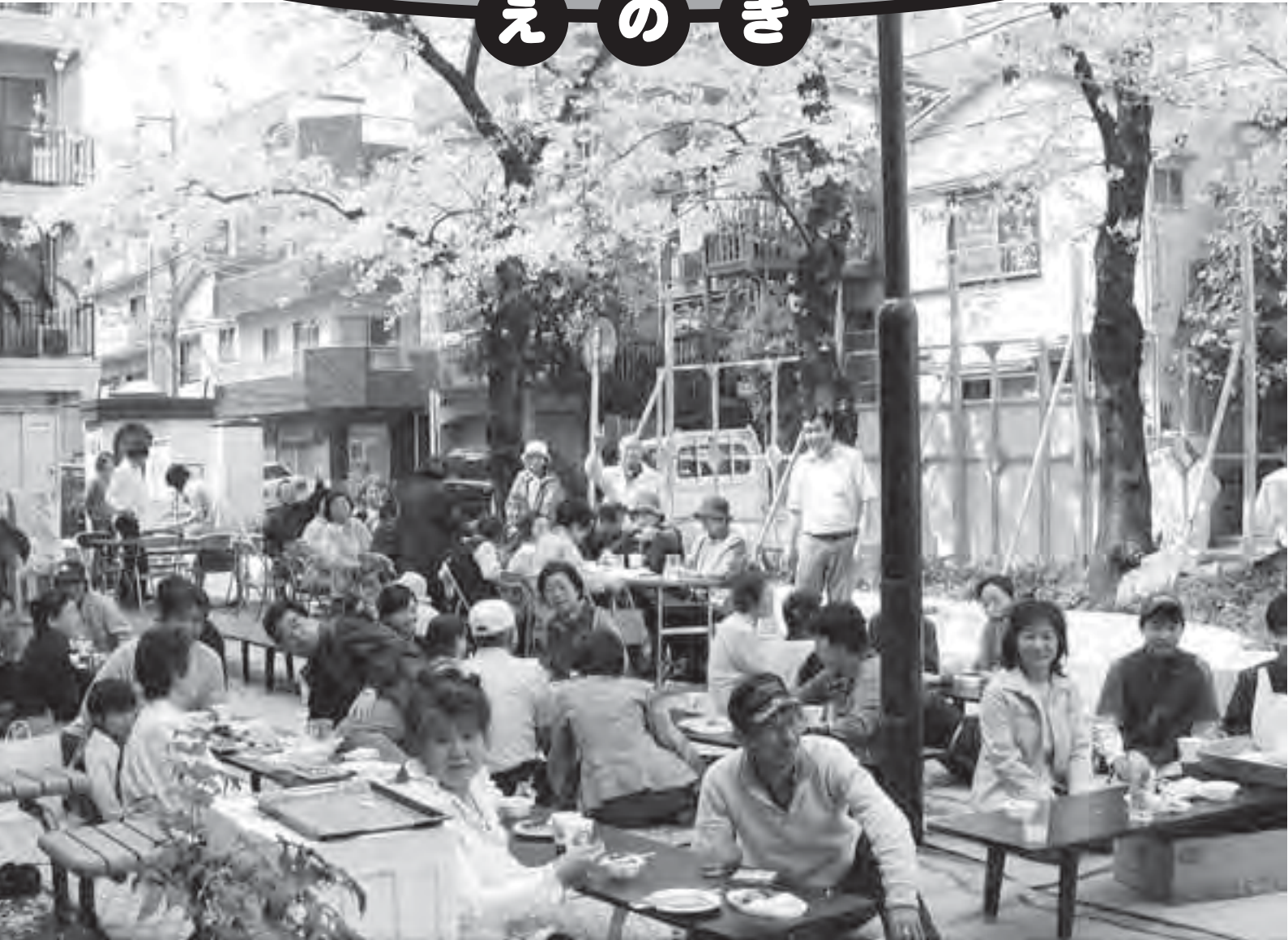


# ENOKI

えのき



## 「長屋の花見」

山吹町会

私たちの住む榎町地区には27の町会があります。そのなかでも山吹町は、近年マンションの隣立により、町の風貌は著しく様変わりし、世帯数も年々増加しています。このような状況のなかで、町会は新しく住む人たちと共に、古き良き時代の人々のコミュニケーションのあり方を大切にしています。町会長の安井さんに町の様子を紹介していただきました。

榎地区のいちばん北側、文京区に接する山吹町。十数年前までは神田川が増水すると、町内のあちこちが浸水するため、町民の災害に対する意識は強く、防災訓練にも積極的に参加します。

下町の人情味あふれる「お祭り騒ぎ」が大好きで、なかでも「山吹町なかよし会」の面々は落語の八つぁん、熊さん状態。そんな連中が花見をすると、飲み物、食べ物こそ本物ですが、まるで落語の「長屋の花見」です。

4月1日(日)晴天。絶好の花見日和。

4本のソメイヨシノがある山吹児童遊園も、彼らの手にかかる30分でお花見会場に早変わりします。15年間も続いている山吹町会「盆踊りと夜店の夕べ」で慣れているので、生ビール、焼きそば、焼き鳥、おでん、団子、お寿司の係りは指示されることもなく、めいめいの得意な持ち場に付いて準備はOK。開始時間の12時を待ちきれず、横丁のご隠居、のり屋のばあさん、与太郎たちがつめかけ会場は100人以上の町会員で満席になります。花より団子の「山吹町会・お花見会」の開宴です。

## 子どもの安全を地域ぐるみで守っています。

近頃、「日本の治安が悪くなった」と言われます。特に、お子さんをお持ちの家庭にとっては、子ども達の安全はとてもの関心があります。子ども達の防犯・安全のために、各小学校でどのような防犯の取り組みが行われているか、レポートします。今号は、江戸川小と牛込仲之小を訪ねてみました。(次号は、鶴巻小と早稲田小です)

### 江戸川小のお話

下町の人情があふれている地域です。現在は特に問題となる事件も殆ど無い状態です。学区のほぼ中心に小学校があるため、地域の多くの方が学校に協力的で、子どもの安全に関しても、見守ってもらっていると感じています。特に、地域の商店の方や、民生委員の方にはお世話になってます。

民生・児童委員の方が、朝、校門に立って子ども達に声掛けをしています。2年前くらいから始まりましたが、水曜日の朝、8時前から、8時30分まで、校門に立って、子ども達に「おはよう」と挨拶の声掛けをしています。小規模学校の良さもあり、地域の方と子ども達が顔見知りの関係ができています。子ども達の安全、防犯に大きく役立っているようです。



### 牛込仲之小のお話

P.T.Aの防犯パトロールには、とても感謝しています。また、地域の方もとても協力的で、民生委員の方にも校門に立ってもらっています。やはり、地域の方と、子ども達が顔見知りの関係になる事が大事ですね。「おやじの会」があることも心強いです。

### 「牛込仲之小防犯パトロールの紹介」

P.T.Aの校外委員の方が、交代で、午後下校時にあわせて30分くらいパトロールをしています。北・南の2コースに分かれ、各2名、1日4名の交代制で行っています。たまに警察の方と一緒に廻るときもあります。「共働きの保護者が多いこの頃」なので、校外委員の負担はかなりのもの思われますが、「子ども達の安全のために取り組んでいるようです。」



### 牛込警察署の取り組み

「子ども達の安全には十分配慮せよ」との本庁の要請もあり、地域課(交番)・交通課(白バイ)が協力して、小学校周辺のパトロールに取り組んでいます。また、各小学校に、「防犯の注意」を呼びかける「のぼり旗」を寄贈して、学校付近に立ててもらっています。

### 民生・児童委員の取り組み

牛込東部、牛込西部地区の民生・児童委員の取り組みとして、各小学校に「朝の声掛け運動」に取り組んでいます。地域・学校によって多少違いますが、毎週(最低でも月1回)8時前から、8時30分まで、校門に立って、子ども達に「おはよう」と挨拶の声掛けをしています。

## 子ども安全ネットえのきのお知らせ



子どもに関する事件の情報をご希望する方にeメールで提供します。

### お申込方法

「子ども安全ネットえのき申込み」と記載し、お名前、住所、電話番号をお書きください。その上で、受信したい携帯電話やパソコン等で次のアドレスまでご送信ください。

net-enoki@rio.odn.ne.jp

※なお、DOCOMOの携帯電話のように受信するたびにパケット料金がかかる通信媒体があります。その場合の費用は自己負担になることをご了承ください。

※情報送信を電話で通知しませんのでご注意ください。

※情報は榎町特別出張所から送信しておりますので、記事内容についてのお問い合わせは榎町特別出張所へご連絡ください。☎03-3202-2461

## 子どもを犯罪から守る…5つのキーワード

<p><b>い</b> いかない</p> <p>知らない人についていかない</p>	<p><b>い</b> <b>か</b> <b>の</b> <b>の</b> のらない</p> <p>知らない人の車にのらない</p>
<p><b>お</b> 大声を出す</p> <p>防犯ブザーはみんなの声のかわりです!</p>	<p><b>お</b> <b>す</b> <b>し</b></p> <p>すぐ逃げる</p>
<p><b>お</b> <b>と</b> <b>な</b> <b>の</b> <b>人</b> <b>が</b> <b>い</b> <b>る</b></p> <p>安全な場所へにげる</p>	<p><b>し</b> <b>し</b> <b>ら</b> <b>せ</b> <b>る</b></p> <p>知らせる</p> <p>何があったかおとなの人に知らせる</p>



## 昔あそびおしるこの会

3月11日(日)、牛込第二中学校にて「昔あそび おしるこの会」が開催されました。あいにくの雨で参加人数は少なく105名(内子ども52名)でしたが、羽子板、けん玉、コマ廻しなどを楽しみました。今回、いちばん人気だった遊びは「型おし粘土」で、三世代にわたる人気キャラクターの「サザエさん、ペコちゃん、アトム」は、大人も子どもも夢中になりました。



▲昔なつかしい遊び「型おし粘土」



▲二中学生のお餅つき

更に今年は二中の生徒さんが前日から準備をし、地域の方に感謝を込めて「おしるこにに入れるお餅」をついてくれました。渡り廊下の屋根の下とはいえ、雨天での餅つきはたいへんでした。何と15臼もつき、汗と雨で“びしょり”。その甲斐あって最高のおしるこができ、参加された皆さんにおいしく召し上がっていただきました。

中学生の皆さん、ありがとうございました。お疲れさま!

## 地域清掃 桜クリーンデー

3月4日(日)、快晴。午前10時より、桜地区全域でいっせいに清掃が行われました。毎年3月の第一日曜日は「桜・地域清掃の日」です。清掃に参加した人数は725名(内子ども138名)でした。大人と子どもが世代を超えて我町をきれいにしている姿はさすがしく、頼もしく感じました。

クリーンデーの輪も毎年広がり、参加人数が増えています。町も心もリフレッシュ!住みやすい町を皆でつくりましょう!

(校外生活部 吉田律子)



## みんな集まれ! 釣り大会

父の日!親子で鯉つりに行こう!



日時	6月17日(日) 9:00~正午
集合	8:15 各小学校の正門 中学生 9:00 現地集合 学校と会場の往復は育成委員が引率します。
会場	市谷フィッシングセンター(市ヶ谷駅に隣接)
参加費	無料 交通費は各自で負担
申込み	6月11日(月)までに学校に申し込んでください。

- ・お父さん、お母さん、ご家族も参加ください。大人の釣り代1000円は当日集めます。
- ・2時間で何Kgの鯉がつかれたかを競います。入賞者には賞状と賞品を授与。参加賞も用意してあります。



## スポーツ交流会

気がるにスポーツを楽しもう!  
どなたでも参加できます。

### ショートテニス

- 6月3日(日) 10:00~12:00 早稲田小学校 体育館

### 卓球

- 7月1日(日) 8月5日(日) 9月2日(日)  
10:00~12:00 鶴巻小学校 体育館

- ・初心者、小学生の低学年には初歩から教えます。
- ・ラケット・ボールは用意してあります。
- ・参加費 100円(保険代金)

主催:桜地区スポーツ推進委員会



第1回 平成18年11月16日(木)

前半は阪神・淡路大震災で被災し、自分たちのまちを復興した人たちの生の声を記録したDVDを鑑賞しました。後半は訓練の概要と今後の予定を確認し、質疑応答をして参加者間の意見共有をしました。



第1回「ガイダンス」

第2回 平成18年11月23日(木)

復興まちづくりに役立つ資源や、復興時に障害になりそうなものを発見して、自分たちのまちを再確認するために、参加者が6班に分かれ、「まちあるき」を行いました。まちあるき後は早稲田大学に集り、班ごとにまちあるきで判明した情報を発表しました。



第2回「まちあるき」

第3回 平成19年2月11日(日)

東京消防庁の延焼シミュレーションシステムを使い、震災時に榎町地域で1か所から火災が起きると、どのようにしてまちに燃え広がるのかを実験しました。その後、疑似体験「復興めぐりめぐりゲーム」(自分が被災者になり、まちや生活が復興するまでを仮想体験するゲーム)を行いました。

# 榎町地域協働復興模擬訓練

榎町特別出張所 小泉栄一

榎町地域で協働復興模擬訓練を行いました。昨年、政府の地震調査委員会は、南関東で30年以内にマグニチュード7程度の大地震が発生する確率が70%であると発表しました。東京に大地震が起きた場合、阪神・淡路大震災を超える大きな被害が予想されます。被災者の中には心身や財産に大きなダメージを受けるなどして、通常の生活に戻れない人たちがいます。また、震災による復興は何年もの年月が掛かります。

大地震が来る前に、震災後のまちの復興を考えるため、復興模擬訓練を5回にわたり榎町地域の皆さんと新宿区、早稲田大学が合同で実施しました。復興模擬訓練はこれまでの防災訓練や避難訓練と違い、「震災後」にどのようにしてまちを復興していくかを考えながら、疑似的な体験ゲームやワークショップを取り入れて行いました。訓練会場は、通常、学生以外が入ることができない早稲田大学西早稲田キャンパスを中心に行いました。

第4回 平成19年2月25日(日)

復興まちづくり体験談として、野田北部まちづくり協議会で事務局長をされた河合節二さんのお話を聞きました。また、図面と模型を使い、地域別に分かれて、まちが復興するまでの課題を議論しました。

第5回 平成19年3月4日(日)

神戸市長田区野田北部を、震災から5年間、現地で撮影をした青池憲司監督のお話を、映像を交えて聞きました。その後、テーブル議論を行いました。



第4回「再建イメージ・模型」



第5回「まちづくりを考える」

計5回の訓練をおとして、参加者の皆さんは事前復興まちづくりの重要性を理解し、平常時からまちを見直す機会が得られたと思います。もし大地震が起こっても、榎町地域は今回の参加者の方々のリーダーとして、1日も早い復興ができることでしょう。

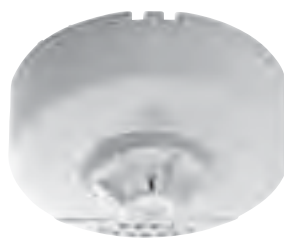
## 住宅用火災警報機の設置が義務化されました

牛込消防署からのお知らせ

すべての住宅に住宅用火災警報機の設置が必要です！



煙式



熱式

### 今お住まいの住宅

平成22年3月31日までに設置してください。

### 新築、改築する住宅

すでに義務となっています。

\*共同住宅や店舗を兼ねた住宅も対象となります。

詳しいことは、消防署にお問い合わせください。

牛込消防署 ☎3267-0119  
早稲田消防出張所 ☎3204-0119

### ▼現状のカード

#### 仮設住宅の供給の状況

早大正門通りの仮設住宅の入居が始まりましたが、十分な戸数は供給できていません。



\*郊外の大規模仮設住宅の抽選も始まり、抽選にあたって移り住む人が増えています。

震災後 6ヶ月

### ▼個人の生活カード

#### 生活場所 仮設住宅A

基礎情報 家族構成・・・70代祖母  
50代夫婦+子ども3人  
自宅の被害・・・全壊 区画整理地区

#### ●生活場所を選んだ理由

とてあす家族だけで生活できる場所を確保したいと思いました。駄目もとで地元の仮設住宅に応募したら当選しました!!

#### ●生活の状況、不安

交通の便、生活の便が良く地元の良さを再確認しました。ただ、隣の家の生活音が漏れてくるし家族6人なので仮設住宅では狭いです。

#### ●地域とのつながり

馴染みの顔をみかける安心感があります。事業説明会の会場が近くて便利です。

あなたならどんなサポートが欲しいですか？  
どんなサポートが出来ますか？

震災後 6ヶ月

# 榎地区協議会の活動

地域の力を集め、区民の区政への参画の足がかりとして設立された地区協議会は、今年で2年目を迎えました。地域の住民自治の担い手として、榎地区協議会委員の皆さんの頑張りは、地区住民の方の目にも頼もしく映ったのではないのでしょうか。

地区協議会は、町会・商店街・高齢者クラブ・学校PTA・消防団など数多くの団体から選ばれた委員と公募による委員とで構成され、目的別の4つの分科会に分かれています。委員の皆さんがそれぞれの個性と力を発揮して、多彩な成果をあげてきました。

第一分科会は「まちづくり分科会」という呼称で、榎地区まちづくり方針作成のためのオープンハウスや中間報告会を開催したほか、外苑東通りの整備、課題別プロジェクトの提案など、さまざまなテーマを取り上げながら、色々な角度から地域を把握する役割に、果敢に挑戦しました。今年度は、今も昔も文化と活力のあるまち「早稲田」の将来像を描き、課題別プロジェクトでは「まちづくり学講座」を開催します。

第二分科会は「地域安全六分科会」として、特に子どもの安全に力を注ぎました。提言書『子どもの安全確保への要望』を区長室危機管理課に提出したほか、防災マップの作成、子どもの安全ポスターの配布など、現実に即した活動を展開しました。今年度も「地域の安全は地域で守る」を合言葉に、子どもの見守り運動を推進していきます。

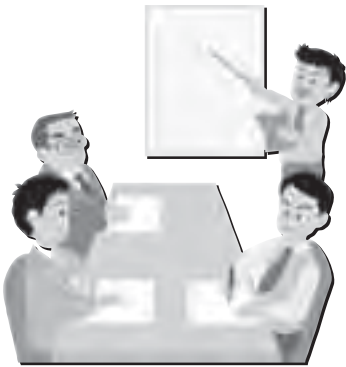
「環境美化分科会」の第三分科会は、榎地区の公園や児童遊園の実情調査・検討から始まり、放置自転車追放・ポイ捨て禁止キャンペーンを実施し、警告ビラの貼付や声かけなど、現場主義の具体的な活動を精力的に行いました。その成果をふまえ、今年度もこの両キャンペーンを重点的に行います。早大通りや駅周辺で見かけたら、ぜひ応援してくださいね。

第四分科会は「地域ふれあい分科会」です。欠かすことなく毎月第一日曜日に開催した『榎ふれあいデー』は、多いときは200名近い参加者を集め、榎地区の定番イベントの地位を固めました。今年度も、世代を越えて誰もが楽しく参加できる遊びや教室、出し物をたくさん用意しています。どなたでも大歓迎です。第一日曜日は早大通りへレッツゴー!!

☆☆このように、楽しく真剣に活動している地区協議会は委員を公募中。☆☆

詳しくは榎町特別出張所にお問い合わせください。さるか、下記ホームページをチェックしてください。

☎32002-2461  
お待ちしております。(多田)



ホームページ <http://www.city.shinjuku.tokyo.jp/division/261500enoki/koubo.htm>

## 新職員の紹介



榎町特別出張所  
主査 小泉栄一

皆さんこんにちは。4月から榎町特別出張所に配属になりました、小泉です。出張所勤務は初めてですが、地域の皆さんの声を大切にし、榎町地域の住民になったつもりで業務に励みたいと考えております。よろしくお願ひいたします。



榎町特別出張所  
まちづくり活動支援員  
地区協議会担当 多田直子

地域の皆さま、4月からお世話になっております、多田です。今まで一般企業で働いた経験しかないので、出張所での毎日とはとても新鮮な気がします。非力ですが頑張りますので、どうぞよろしくお願いいたします。

## 榎町地域センター 管理運営委員会の総会

平成19年5月18日総会が開催され平成18年度事業報告、決算、平成19年度事業計画、予算が報告され承認されました。また、新役員が選任され、新体制が発足しました。平成18年度(第6期)収支決算の要約は次の通りです。

収入の部		支出の部	
科目	決算額	科目	決算額
新宿区管理費	16,387	管理費	13,645
新宿区委託費	208	事業費	1,618
その他収入	555	税金	855
合計	17,150	合計	16,118
当期収支差額			1,032
前期繰越収支差額			984
次期繰越収支差額			2,016

(単位千円)

# 夏目漱石生誕140年記念事業

喜久井町で生まれ、早稲田南町で亡くなった文豪 夏目漱石(1867-1916)は、創作活動の大半を「漱石山房」と呼ばれた早稲田南町の家で行いました。今年は、漱石生誕140年に当たります。そこで、新宿区やその他の団体が、次の通り記念事業を計画しております。

なお、詳細はそれぞれの団体のホームページをご覧ください。



主催	行事内容	日時	場所	料金
新宿区	文化国際課 漱石と漱石山房秋冬(漱石作品の映画会とシンポジウム)	12月2日 午後2時	四谷 区民ホール	無料
	文化国際課 漱石自身や漱石に関係した人々に関する小冊子の発行	9月頃 完成予定	区内各所で 配布	無料
	新宿歴史博物館 特別展 「夏目漱石と新宿の文学者たち」	11月3日~ 12月16日	同所	有料
	道とみどりの課 「漱石公園のリニューアル」	19年6月~ 20年3月	早稲田南町	
(財)新宿文化・国際交流財団	ミュージカル「坊っちゃん」	12月22日 午後・夜2回	四谷 区民ホール	有料
(新宿区協働提案事業) 漱石山房を考える会	漱石に関する出前授業	19年4月~ 20年3月	区内 各小学校	無料
	親子で学ぶ漱石 都電のたび(貸切)	7月31日,8月9日 8月26日	生誕の地、 都電荒川線	有料
	生誕の地で見る漱石ギャラリー 東北大学提供「漱石文庫」を主体	6月4日~ 7月30日	喜久井町 1番地	無料
	漱石を語る七夕講演会 「孫が語る漱石」 夏目房之介 「新作講談 夏目漱石」 神田 紅	7月7日	四谷 区民ホール	3,000円
	新宿ふれあいフェスタ2007会場 「坊っちゃん列車」展示、試乗	10月21日	戸山公園	無料

このほか中央図書館が講演会、漱石原作の映画会を予定しております。

新宿区 ..... <http://www.city.shinjuku.tokyo.jp/>

漱石山房を考える会 ..... <http://www.souseki-sanbou.net/>

## 子ども達の活躍レポート



**部員募集中!!** 目標に向かって一緒にがんばろう!!  
連絡先 坂本 ☎3232-4886

(ここで、1部とは6年生以下のチーム  
2部とは4年生以下のチームです)

大会	1部	2部
箱根山大会	優勝	3位
新宿区春季大会	3位	優勝
牛込防犯大会	準優勝	優勝
新宿区秋季大会	3位	準優勝
四谷牛込大会	---	優勝
球友リーグ	準優勝	優勝
牛込A地区大会	準優勝	---
都知事杯大会	出場	---
東京ヤクルトスワローズ杯 23区大会	---	出場

少年野球クラブ、鶴巻ジャガーズの平成18年度成績が届きました。

### 鶴巻ジャガーズ



### 早稲田ジュニア

会員募集

「早稲田ジュニア少年野球クラブは新戦力を大募集中です!年長から6年生の男の子、女の子ならだれでも参加できます。チームの基本スタンスは「野球を楽しむ」という事です。大人も子供も限られた練習時間内で十分に野球のたのしさ・面白さを実感しています。そして「野球が好き」と胸を張って言える仲間たちがたくさんいます。



お問合せ・入部申込み  
☎090-4918-4310  
メールアドレス [waseda.jr@ezweb.ne.jp](mailto:waseda.jr@ezweb.ne.jp)  
見学・体験はいつでも可能です。お気軽にご連絡下さい。

### FC早稲田

会員募集

毎週、土・日・祝日に早稲田小・牛込一中の校庭で練習しています。幼・1~2年の小学の部から中学生の部、高・社会人の部まで、約200世帯が参加しています。「サッカー好きの子ども達を育てる」をモットーとして、サッカーの技量向上は勿論ですが、子ども達の健全育成を目指しています。1月の「初蹴り」8月の夏季合宿、学期末の「卒業を祝う会」「卒業旅行」など、子ども達にとって楽しいイベントも数多くあります。「体験練習」も出来ます。お申し込みは、武田(☎32202-7657)福島(☎3203-5026)にどうぞ。  
早稲田小・鶴巻小の子どもは勿論、榎地区のすべての小学校、戸塚1小、東戸山小の子ども達も参加しています。詳しくは、各小学校のFC早稲田の保護者に相談してください。



日時	7月29日(日)午前10時～午後4時
募集	72名
場所	榎町地域センター 4階多目的ホール
参加費	300円
申込み	6月24日(日)午前10時より受付 榎町地域センター 3階 調理室・工芸美術室 ※5月17日(木)より榎町地域センター 2階事務局に申込書を設置

## 納涼カラオケ大会



日時	7月13日(金) ①午前10時～ お母様達メインで 最後に子供も一緒にストレッチをする。 ②午前11時～ ウォーキングが中心の 大人向き
募集	①お子さんと参加 20組 ②大人 30名
場所	榎町地域センター 4階多目的ホール
参加費	300円 保険料込み
持参する物	上履き・着替え・タオル
申込み	榎町地域センター事務局へ お申し込み下さい。

## エアロビッツ教室



日時	6月19日(火)午後1時～5時
募集	20名
場所	榎町地域センター 3階工芸美術室
参加費	500円 材料費込み
持参する物	指ぬき・糸きりはさみ・待針・小さい物差し・ ゴム通し
申込み	榎町地域センター事務局へ お申し込み下さい。

## 刺し子教室

雪持笹の刺し子で簡単な可愛い袋を作ります。

## 新宿HAHAha倶楽部からのお知らせ

### 「ファミリーガイド 新宿HAHAha倶楽部ぷらす」 が発行されました!

新宿HAHAha倶楽部は、新宿区内の子育て情報を集めて発信するサークルで、主な活動拠点は早稲田鶴巻町にあります。3年程前からは参加費500円で無料の託児が付き、子育て中のママたちが双方向に教えあう「ワンコイン講座」も企画実施しております。ワンコイン講座の参加申し込み&現在参加者募集中の講座はホームページ(<http://s-hahaha.hp.infoseek.co.jp/>)でご確認ください。

昨年度、新宿区役所健康いきがい課の助成金を得て、B5版48ページの冊子「ファミリーガイド 新宿HAHAha倶楽部ぷらす」を発行しました。新宿区内にお住まい



の方々に役立つような情報を集め、「お出かけしよう」「生きがい作り」「暮らし」「介護」の項目に分けて紹介しています。このガイドを読んだ方が、「今度の休みに家族で行ってみようかなあ」「こんなイベントや講座、ボランティア活動に私も参加できるかも」と思ってくれるような内容になるよう、メンバー一同総力を挙げて仕上げました。

ガイドは4月上旬から区内の包括支援センター、図書館にて無料配布しています。5月末からは榎町地域センター窓口でも無料配布いたしますので内容に興味のある方はぜひお問い合わせください。

新宿 HAHAha 倶楽部代表 鈴木 庸子



※詳しくは、榎町地域センター事務局まで  
お問い合わせください。  
☎3202-8585

実施時期	平成19年8月・11月・平成20年3月
募集方法	地域センター2階事務局に 申し込み用紙があります。

榎町地域センターをより多くの方にご利用いただくため、講座または教室等を募集しています。

## 登録団体の皆様へお願い

平成18年度は、AED講習会・地球をきれいにする水質浄化液「えひめA-2」を無料で配布いたしました。皆様の色々なアイデアをお待ちしています。

## 地域貢献事業のアイデア募集

## 地域センター登録団体 意見交換会

管理運営委員会が主催した標記会合が3月4日午後7時から開催され、53団体が出席した。主催者側から登録状況、部屋別の利用状況、平成18年度の行事報告と平成19年度の行事予定の報告があった。ついで、登録団体公募講座・教室の実施要領の説明と地域貢献活動としてAEDの取扱講習、「えひめA-2」の配布と作り方、使用法の説明の後、参加団体からの質疑応答を行った。会議室での飲食の問題、参加者の託児室の状況、カラオケ大会参加者の決定方法等の質疑があり、午後8時に終了した。

※「えひめA-2」は、前号(20号)でご紹介した、愛媛県工業技術センターが開発した「地球をきれいにする水質浄化液」です。

